

【編集後記】

今期から編集委員を担当しております。私は機械工学の中で熱流体工学、熱力学、マイクロ工学を専門としていますが、微小な温度センサや熱量センサを微細加工で製作し熱分析へ応用する研究をはじめから学会にお世話になるようになりました。熱測定討論会や学会誌では、化学や物理、材料、生体、医薬、食品など多彩な分野の研究や議論に触れ、理解の及ばないところが多いながら、新しい知識や考え方に新鮮な刺激を受けています。機械工学は、様々な科学を人の役に立つものやシステムとして形にする役割を担っていますが、新しいものをどのように応用するかをいつも考えています。今号でも、「絹フィブロインの構造変化」の解説では、タンパク質薄膜のナノレベルでの構造変化がAFMで見事に捉えられており、ナノ構造変化を利用した機能性材料としての応用や機能制御性の有用な知見が得られることを期待しました。異なる素材が対象ですが「DMSO水溶液中のリゾチームの熱力学」の解説でも、タンパク質の構造・物性・機能を連動させる大きな目的の中で精密な熱力学的アプローチが紹介され、食品の成分としか思っていなかったタンパク質に大きな可能性があることを知りました。また、「金属製錬における熱力学の利用」の解説では、機械工学の熱力学が熱エネルギーから仕事を取り出すことを主目的として構築されているのに対して、目的とする金属を分離・抽出する過程に熱力学が効果的に利用され、「製錬熱力学」として確立されていることに、熱力学の広さを改めて感じました。解説のおわりに述べられている、レアメタルや貴金属など希少材料を都市鉱山からリサイクルする問題へも、熱力学的アプローチが成果を挙げることに大いに期待しました。雑駁な感想ですが、多彩なトピックスを会員が様々な視点で読めるような学会誌であることが大切なのかなと感じました。(中別府 修)

「熱測定」編集委員会

(委員長) 猿山 靖夫
 (編集委員) 内山 進, 小川 英生, 川上 亘作, 中別府 修, 橋本 拓也, 宮崎 裕司
 (拡大編集委員) 神崎 亮, 清野 肇, 古賀 信吉, 橋 信, 松本 里香, 三木 久美子

【複写される方へ】 Notice about photocopying

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写して下さい。但し(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません。(社外頒布用の複写は許諾が必要です。)

権利委託先：(中法) 学術著作権協会
 〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル
 TEL. 03-3475-5618, FAX. 03-3475-5619,
 e-mail: info@jaacc.jp

なお、著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、直接発行団体へご連絡ください。

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc.
 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, U.S.A.
 TEL. +1-978-750-8400, FAX. +1-978-646-8600

熱測定Vol.36, No.5, 2009

昭和52年5月27日 第4種郵便物(学術刊行物)認可

平成21年11月10日 印刷

平成21年11月15日 発行

発行人 日本熱測定学会 吉田博久

事務局 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-6-7 宮沢ビル601

TEL. 03-5821-7120 FAX. 03-5821-7439 e-mail: netsu@mbd.nifty.com

熱測定原稿 e-mail: edit@netsu.org

学会ホームページ <http://www.soc.nii.ac.jp/jscta/index.html>

郵便振替口座 00190-5-110303

